

テーマ	Excel で進路先を検索しよう				
概要	コンピュータ機器等を活用することで情報の収集・活用がより効率的に行えることを体験するとともに、生徒の進路意識を高める。				
ねらい	問題解決を効果的に行うためには、目的に応じた解決手順の工夫とコンピュータや情報通信ネットワークなどの適切な活用が必要であることを理解させる。				
関連する主な科目・項目	情報A「問題解決の工夫」	難易度	易・普・難	想定時間数	約2時間
準備するもの	求人データ 表計算ソフト (Excel)	作成者	青山 知喜		

1 学習の展開

ここでは対象生徒を専門高校生と想定し、就職先検索を通して授業を展開しますが、学校によっては進学先でも、進路と全く関係のないデータでも構わないと思います。

(1) 事前準備

あらかじめ Excel で求人データの一覧表を作成しておきます。進路指導部で取り扱っているデータの流用が可能であれば、比較的簡単にデータを作成できると思います。

休日の日数や残業の有無、ボーナスなど、より具体的なデータ項目を多く用いることも可能ですが、授業を効率よく進めるために今回は下に示した項目のみとしました。

番号	企業名	職種	通勤	従業員数	基準内賃金 (円)	交替制	障害	通学	給与費用	求職人数
1	A社	技術職	×	399	171500	3	○	○	○	48
2	B社	技術係佐	○	293	151000	2	×	×	○	21
3	C社	技術職	○	160	140000	0	○	×	○	7
4	D社	技術職	○	160	150000	0	×	×	○	0
5	E社	技術職	○	50	160000	0	○	×	×	4

(2) 「手作業」による検索

求人データ一覧表を印刷し、与えられた条件に適合する会社を、印刷された一覧表からコンピュータを使わず「手作業」で検索してみよう。膨大なデータの中から手作業で必要なデータを取り出す大変さを身をもって体験することが、この項目のねらいです。今回、検索条件は以下のようなものとしました。

技能職として採用してもらえる会社

従業員数 10,000 人以上で 2 交替制、夜間学校への通学が可能な会社

従業員数 1,000 人以上 10,000 人以下で、交代制なし、基準内賃金は 17 万円以上の通勤、通学が可能な会社

(3) 「コンピュータ」による検索

手作業の場合と同条件の検索をコンピュータ (Excel) を利用して行ってみよう。手作業の場合の苦労を思い返し、コンピュータを用いることがどれほど有効で、効率的であるかを実感しよう。

<Excel による検索の方法>

検索範囲を選択し、メニューバーの「データ」「フィルタ」「オートフィルタ」を実行します。



の場合は...

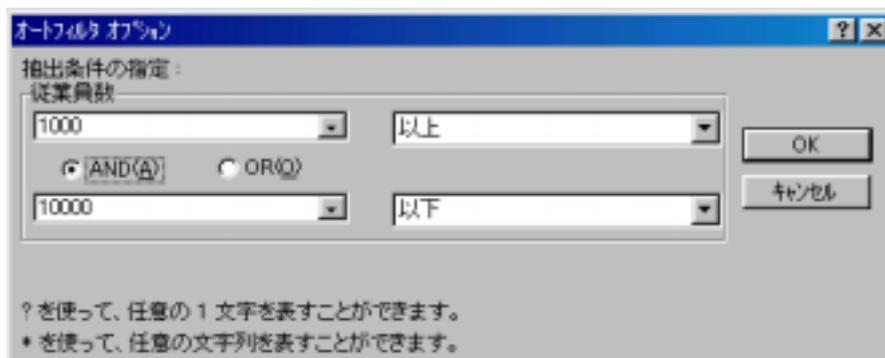
職種と表示されたセルの ボタンをクリックし、技能職を選択すると条件に適合する会社が表示されます。

の場合は...

従業員数と表示されたセルの ボタンをクリックし、(オプション...)を選択します。抽出条件の指定で「10000」、「以上」と入力し実行します。その後、交替制の ボタンで2を、通学の ボタンでを選択することで、検索できます。

の場合は...

と同様に従業員数の ボタンで(オプション...)を選択します。抽出条件の指定で以下のように入力し、実行します。「AND」と「OR」に関しては、この場合 1000 以上という条件と 10000 以下という条件を同時に満たすという意味で「AND」を選択します。その後交替制、賃金、通勤、通学でもフィルタをかけることで検索できます。



2 発展的な学習

これまでは与えられた条件に適合する会社を検索したが、就職先を選ぶうえで、自分なら何を重視するのかを考え、その考えをもとに検索を行ってみよう。さらに気になる会社がある程度抽出できたら、その会社についてインターネットで調べ、必要なページを印刷してみよう。

コンピュータは非常に便利な道具であるが、今回のような場合はあくまでも自分の意志決定の「手助け」にしかならないことを理解しておかなければならない。